



大きな紙に付箋紙をはってアイデアを出し合いました。

総合計画ワークショップ始まる

計画の見直しのため町民が意見を出し合う

町は、平成18年度に策定した第1次総合計画が5年目を迎えることを受け、変化する社会情勢などとの整合を図るための見直しと「後期基本計画」の策定を実施します。これら計画の策定に当たっては、町民の皆さんの積極的参加を進め、計画に皆さんの意見を反映していく考えです。

これまでに、町民の皆さんにご協力をいただき「町民アンケート（対象1,000人、無作為抽出）」を実施しました。

7月7日には、一般公募や町内各団体から推薦された皆さんが集まり、「第1回町民ワークショップ」を開催しました。テーマは「私が町のためにしていること」。参加者が6つのグループに分かれ、テーブルに置かれた付箋紙に自分の意見を書き込み、台紙に貼り付けていく形でワークショップを進めました。

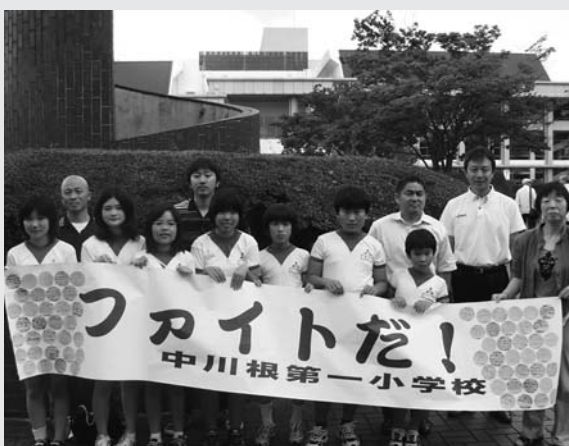
「森づくり活動に参加しています」「友人を町内に招待することで本町のPRをしています」「各種ボランティア活動に取り組んでいます」など、各班ではさまざまな分野から、活発な意見が出されていました。

今後、「町に対する要望・提言」や「町民の取り組み」について全6回のワークショップを開催し、総合計画に皆さんの意見を盛り込んでいく予定です。

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?

大片富士夫さんに旭日双光章

元中川根町議会議員の大片富士夫さんに旭日双光章が授与され6月24日、静岡県庁で川勝県知事から伝達されました。大片さんは昭和36年2月、中川根村議会議員に当選して以来、7期28年余にわたり、強い信念と卓抜なる識見で地方自治の伸展に寄与されました。教育面では、川根地域への県立高校誘致に力を注ぎ、一方で新大井川非出資漁業協同組合の理事および組合長、中川根町森林組合理事を歴任するなど、古里への強い愛着心で地域振興に貢献されました。その功績が認められ、今回の受章となりました。



大会後に記念撮影。精いっぱい力を出し切りました。

見事な自転車操縦技術を披露

中川根第一小6年4人が自転車大会出場

第44回交通安全子供自転車静岡県大会は6月25日、中央体育館（静岡市）で開かれました。県内29チーム・116人が参加したこの大会。島田地区代表として中川根第一小6年の榎田萌華さん、大橋秀也くん、原田航希くん、前田花帆さんが出場を果たしました。

クラスメイトの声援と手作りの応援幕に背中を押され、素晴らしい運転技術を披露した4選手。全国大会の切符は逃しましたが、精一杯力を出し切りました。

暑さに負けずはつらつプレー

中電杯中学校野球・バレーボール大会開催

中電杯中学校第31回野球大会と同第26回バレーボール大会は6月4日、川根中グラウンドおよび同校体育館で開催されました。

大井川流域の4中学校140人が参加したこの大会には本川根中、中川根中の選手たちが出場し、父兄の声援を受けながら、はつらつとしたプレーで大会を盛り上げました。結果、野球は川根中学校、バレーボールは金谷中学校がそれぞれ3連覇を果たしました。



中学生らしい元気なプレーが続出。写真は野球大会。

街路灯が見違えるほど美しく

商工会支部や中電が協力し清掃活動を実施

本町商工会第6支部（森脇清隆支部長）、第7支部（藤田益広支部長）は6月7日、中部電力榑大井川電力センターと共同で、環境美化の一環として国道362号沿いの街路灯の清掃活動を実施。18人が参加しました。

街路灯は、排気ガスの汚れやくもの葉が目立ち、かなり汚れていましたが、中電が所有する高所作業車を使って21基を丁寧に清掃。どれも見違えるようにきれいになり、明るさも格段に改善されました。



高所作業車を使い手慣れた様子で作業する参加者。

本町商工会第2支部（神田優一支部長）は6月10日、千頭駅前に吊り橋をモチーフとした緑のカーテンを制作しました。第2支部所属の店主や企業の代表者および従業員など約20人が参加し、6本の丸太と木のツルなどを使い、およそ4時間かけて制作しました。

置かれたあさがおのプランターは約30個。長さは約13メートルにもなります。完成後には、「あさがおエコ吊橋」と名付けられました。

夏には緑色に包まれる予定のこの吊り橋。本町に数多くある吊り橋は、商工会青年部が展開する「奥大井サスペンスブリッジ恋愛事件」の舞台でもあります。「観光客や地元の人たちの一服の清涼剤となれば」と関係者たちは期待を寄せています。

千頭駅前に緑の吊り橋が登場

商工会第2支部が駅前恒例の緑のカーテン



20人が参加して製作した緑の吊り橋。夏には緑に包まれる予定です。

Topics

川根本町の まちの話題